



活水高等学校
活水中学校
No.23
2022年
8月9日



活ける泉

年間聖句
あなたがたは、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。
ペトロの手紙一4章10節

夏休み

校長 大岩 厚

「シャシャシャ」クマゼミの鳴き声が、午前中からの暑さをいっそう暑く感じさせる夏休み。登校して自学に励む人や部活動に汗を流す人、あるいは学校以外の場所で普段とは異なる生活を送っている人などそれぞれの夏休みを過ごしていることと思います。

蜩（ヒグラシ）というセミを知っていますか。直木賞作家、葉室麟さんの「蜩ノ記」で、その名前を知っている方もあるかもしれません。図鑑で調べると、ヒグラシはクマゼミよりも少し小型のセミで、夏の夕暮れ時など少し涼しい時に鳴き、鳴き声は「カナカナカナ」とか「キキキキキ」と表現されています。

私は、高校時代まで四国南西部の海岸近くで暮らしていたので、ヒグラシの鳴き声を聞いたことがありませんでした。大学生になって、夏休みに島根県の友人を訪ねた時、木立に囲まれた友人家で聞き慣れない不思議な鳴き声を耳にします。私は友人に尋ねました。「この鳴き声は、どんな鳥？」友人は驚きを隠せない様子で、「これ、ヒグラシだよ。鳥じゃなくてセミ。聞いたことないの？」友人にとって、子どもの頃から当たり前前なのが、私にとっては初めて経験することでした。生まれ育ってきた環境の違いで、自分にとっての当たり前が当たり前ではない事、みんな同じが当たり前ではない事を知る貴重な経験となりました。

さて、日本の夏には忘れてはならない大切なことと、大切な日があります。1945年の8月6日広島に、8月9日長崎に原爆が投下された日、そして8月15日、日本が無条件降伏をして太平洋戦争が終わった、とされている日。

私は、皆さんにいろいろな経験をしてもらいたいと考えていますが、戦争だけは経験をして欲しくない事です。そのためには、戦争でつらい経験をした方々の話に真摯に耳を傾け、戦争の不条理と悲惨さに想像力を働かせる事が大切です。なぜ戦争に突き進んでしまったのか、なぜ無謀な戦争を止めることができなかつたのか、それらの史実をしっかりと学んで、一人一人が、戦争をしないため、させないためにできることを考えなくてはなりません。

「平和を実現する人々は、幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。(マタイ5:9)」この夏休み、いろいろな経験をして有意義な時にしましょう。自分の進路を実現するために、しっかりと学習をしましょう。そして、平和を実現するためには努力が大切である事に目を向けて、学びを深めていきましょう。

31 (水)	30 (火)	29 (月)	28 (日)	27 (土)	26 (金)	25 (木)	20 (土)	17 (水)	11 (木)	9 (火)	7 (日)	1 (月)
実力考查	高一校外研修	高II活水女子大出前授業	教会出席日4	英語科紹介	夏期特別授業(〜30日)	高II進路説明会	活水女子大看護学部(大村)	高夏期課外(〜19日、22日)	校舎閉鎖(〜16日)	原爆忌	第3回活水女子大オープンキャンパス	高I・II・III自習週間(〜5日)

8月行事予定



オープンスクールにぎわう

高校第1回

7月2日(土)午後から、「第1回オープンスクール」が開かれました。猛暑の中、中学3年生の生徒と保護者、合わせて約280名の方が来校してくださいました。吹奏楽部のウェルカムコンサート、生徒による学校紹介、ダンス部の演技披露、新体操部による制服紹介と生徒たちが主役でした。来校者が自分たちで校内を巡る「校内探検」も好評で、お土産の「活水うちわ」で涼をとりながらチェックポイントを回っていました。(鈴木洋一)



中学校



7月9日(土)中学校のオープンスクールが行われました。校内探検では校内を巡り、クイズに答えて記念品をゲットしました。活水中学の生徒との交流会では、グループでワークショップを行いました。小学校との違いや中学校の行事のことなどを聞きながら、楽しい時間を過ごすことができました。英語レッスンでは楽しいゲームや簡単な会話を英語で楽しみ、活水の英語学習に触れました。(長門祐二)

最後の音楽コース定期演奏会

7月9日(土)、14時より「第35回音楽コース定期演奏会」を行いました。実は今年度が最後の定期演奏会でした。現高校III年生音楽コース6名が各主科の発表を行いました。彼女たちは、いよいよ夏休みからオープンキャンパスなどに行き、自己実現に向け、それぞれの道に向かって努力をすることでしょう。今回は最後の定期演奏会という事で4名の先輩達が素晴らしい演奏を披露してくださいました。この演奏を聴きながら改めて35年という歴史の重みを感じました。(杉町たまみ)



今月の聖句

「平和を実現する人々は、幸いである。」 マタイによる福音書5章9節

8月は、長崎にとって大切な「月」です。1945年8月9日午前11時2分、長崎市に一つの原子爆弾が投下され、7万人を超える人が亡くなりました。長崎と「平和」、このワードは、決して切り離すことのできない町に私たちは住んでいます。平和を考える時、私は初出勤の日に聞いた話を思い出します。静岡県出身の私にある先生が教えてくださいました。

「原爆が投下された後、活水の横にある浦上川にはたくさんの人が這いつくばってやってきて水を求めたんだよ。そして浦上川は人で埋め尽くされたんだ。川の水を飲みにくる人々、と言うと聞こえはいいけれど、その水は油のようなものが一面に浮いていて決して飲める状態の水ではなかった。しかし、のどが乾いてたまらず、どうしてもどうしても水が欲しくて飲んだんだ。そういう川の近くに活水はあるんだよ」

聖書にも、平和について書かれている箇所がたくさんあります。しかし聖書の教える平和とは、ただ戦争が無い状態だけではなくありません。他者との間で、お互いを尊重し、労わってより良く生きることを目指すという意味を含んでいます。人との関わりを大切にしながら、他者と共に平和な社会を作る一員になりたいと思います。(常泉晶子)

企業見学会、貴重な体験に

「10年後、私はどうなりたいの？」生徒たちは「総合的な探究」の時間に自分としっかり向き合いながら、未来予想図を作成しています。自分の将来を予想図で目に見えるカタチにし、現在の自分がやるべきことを明確にできるように取り組んでいます。

7月13日（水）、生徒たちは、長崎県男女参画・女性活躍推進室のコーディネートで、5社の企業に分かれて、それぞれを訪問しました。現場で働く女性の方々と意見交換をし、『働く自分の姿』を具体的なモデルと重ねられたようです。若い大切な時期に貴重な体験となりました。



訪問企業（十八親和銀行・チョーブロ・長崎厚生福祉団・メットライフ生命・Vファーレン長崎）
期日 7月13日（水）
（増田康子）

中3 修学旅行

中学3年生は、6月28日（火）から1泊2日で佐世保方面へ修学旅行に行ってきました。初日は「針尾送信所」などで平和遺構を見学し、「海きらら」と「森きらら」を観光した後、ハウステンボスのホテルに宿泊しました。翌日は班に分かれて園内散策を行いました。

3年1組の小岩さんは「コロナ禍ということで諦めていた修学旅行に行くことが出来て本当に嬉しかったです。クラス全員が参加できたので共通の良い思い出になりました。楽しかったです。」と話していました。
（津留美幸）



中2 職場体験

中学2年生の職場体験は、7月7日・8日に予定通り行うことが出来ました。今年の体験場所は、ココウォーク内のTOHOシネマズ、ニトリ、GU、ユニクロ、ペットプラスの5店舗とTSUTAYA遊ING城山店、子育て支援センターピクニック、長崎歴史文化博物館でした。生徒たちは、挨拶の重要性やお客様とのコミュニケーション、働くことの大変さ等学べたと話していました。

今回の経験を通して、普段学べないことを学ぶことができ、充実した2日間だったようです。
（向井杏奈）



熱戦続いた球技大会

7月19日（火）、体育館でバレーボールの球技大会が行われました。高校の部では白熱した予選リーグを勝ち抜いた各学年上位2クラスが決勝トーナメントに進み、熱戦の末、優勝はⅡD、準優勝はⅢB、第3位はⅢC、ⅡCでした。中学の部では学年を縦割りにして赤青に分かれて2試合行いその合計点で赤が優勝しました。どのクラスも練習の段階から熱心に取り組み、本番では楽しく盛り上がっていました。（平



スプリングコンテスト

今年度第1回目のスプリングコンテストが、台風で1週間順延され、7月12日（火）に行われました。生徒は授業で小テストに取り組み入賞を目指して頑張っていました。

第2回は10月に予定されています。
（平尾淳一）

働く女性のパネルディスカッション

6月29日（水）、高校Ⅱ年生を対象に『働く女性のパネルディスカッション』が行われました。昨年度に引き続きの実施となり、今年度は、十八親和銀行様、ジャパネットホールディングス様、長崎厚生福祉団様より3名のパネリストに本校いただきました。パネリストの中には活水高校の卒業生がおり、社会人として活躍する姿を見ることができました。在校生からの「仕事のやりがい」をどのような時に感じますか？や「休日はどのように過ごしていますか？」など多岐にわたる質問にも笑顔で回答していただき、社会人のイメージを掴むことができました。地元で働くことで地域に貢献されている姿に接して、生徒も刺激を受け、充実したひと時となりました。（草野深音）



大会等成績

〈*アーチェリー（社会体育）〉

全九州高等学校体育大会

全九州高等学校アーチェリー競技大会

女子個人 第3位 瀬川藍瑠

インターハイ出場権も保持

〈中学新体操〉

かささぎ杯ジュニア新体操長崎県予選会

団体 2位（朝長、久米、平井、近藤、松村）

個人総合

5位 朝長陽稀 7位 平井彩摘

（朝長は県代表として本選へ）

長崎県中学校総合体育大会 新体操競技

団体 優勝

*14連覇、九州大会へ

個人 3位 朝長陽稀、

5位 平井彩摘

9位 久米つづり



〈高校卓球部〉

西彼杵郡オープン卓球選手権大会

女子ダブルス 第3位 山口れいら・榎史奈

〈高校バレーボール部〉

長崎地区高等学校男女バレーボール一年生大会

準優勝

佐賀県ビーチバレーボール大会

第3位 有田こころ・三谷紗南瑛

〈高校バドミントン部〉

TM・ライン杯争奪夏季バドミントンダブルス大会

女子Bクラス 第1位 吉田心音・河内逢美

第2位 前田美采・森澤ひなた

〈中高吹奏楽部〉

県吹奏楽コンクール

金賞（九州大会進出）

〈高校放送部〉

NHK杯全国高校放送コンテスト

アナウンス部門 優良賞

渡辺あい

*決勝10人のうちに残る

〈ダンス部〉

サマーライブ



〈音楽〉

ピティナ・ピアノコンペティション

長崎地区 F級予選 優秀賞 石川奈那美

松本地区 Jカテゴリー予選 優秀賞 三浦蓮月

福岡地区 Jカテゴリー予選 優秀賞、並びに

福岡後期予選地区 日本楽芸社賞 三浦蓮月

全日本ジュニアクラシック音楽コンクール福岡予選

声楽部門 高校生の部 合格証 片瀨花音

木管楽器部門 高校生の部 合格証 片瀨花音

長崎県新人演奏会オーディション 優秀賞 三浦蓮月

ヴェルデ音楽コンクール

ピアノ部門佐賀地区予選大会 自由曲コース

高校生の部 金賞 三浦蓮月

〈図書委員会〉

長崎県高等学校総合文化祭 図書部門

ライブラリーフェスティバル

県南地区大会図書館広報紙コンクール 優秀賞

同大会ビブリオバトル チャンプ本

「魔法があるなら」 吉田幸加

（山口真樹人）